

令和6年産

大崎稲作情報 第4号

令和6年6月21日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- ✓ 有効茎数に達したほ場が多くなりましたが、生育の遅れているほ場もあります。ほ場で茎数を確認の上、中干し時期を決定しましょう。
- ✓ いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- ✓ 雑草防除を徹底し、斑点米カメムシ類を抑えましょう。

1 気象経過（前5か年間平均値との比較）

6月第2半旬以降の気温はかなり高くなりました。第3、4半旬の日照時間はかなり多くなりました。降雨は第2半旬以降ありませんでした。

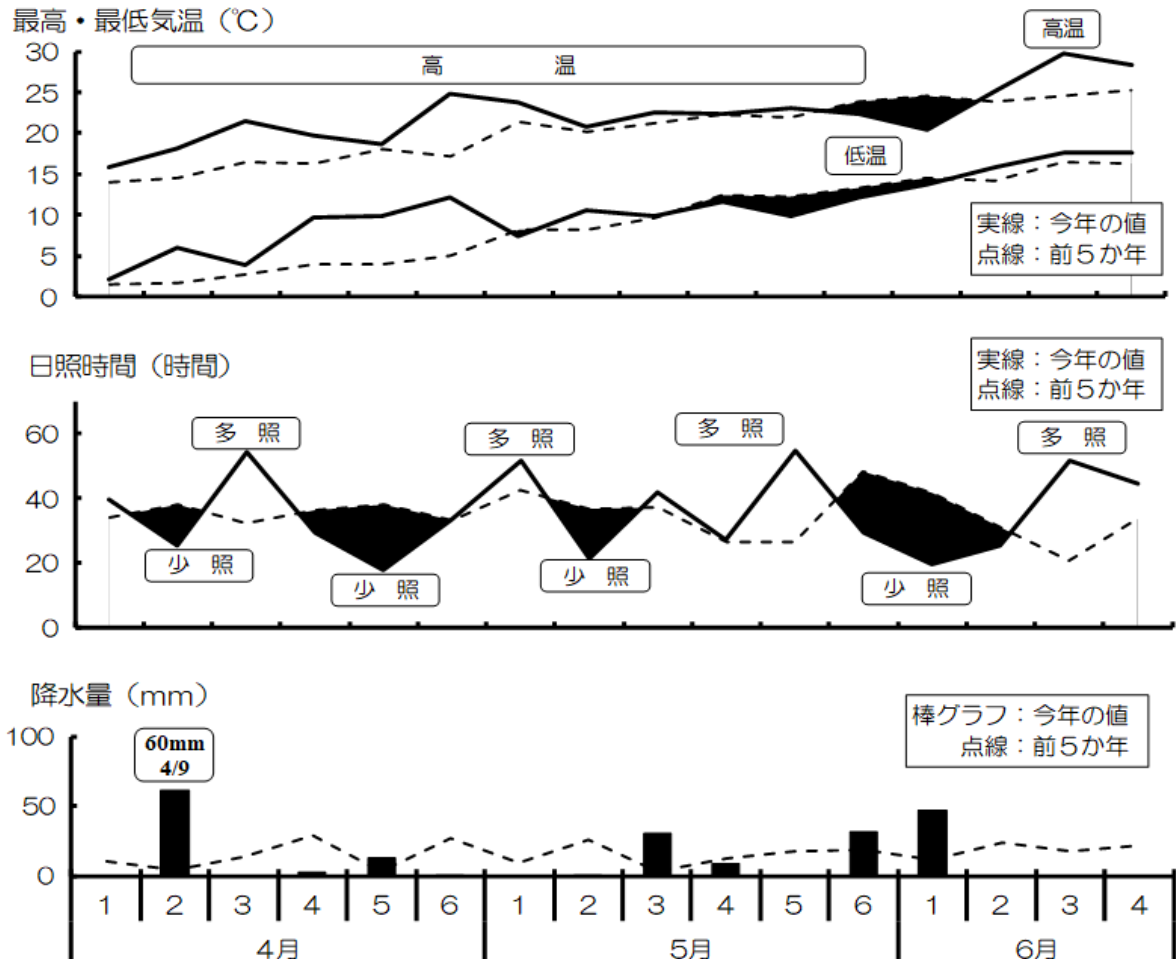


図1 4月～6月第4半旬の気象（古川アメダス）※前5か年平均値との比較

2 生育概況（6月20日現在）

6月第2半旬以降は概ね高温多照で経過したことから、回復傾向です。ほ場平均値の平年比較は、草丈、葉数及び葉色は平年を上回り、茎数は96%（前回は78%）で平年並に近づ

きました。5月連休中に移植したほ場はほとんど目標茎数に達しました。一方、晩期移植や植え傷みが発生したほ場の一部では回復傾向であるものの、茎数がまだ平年値を下回っています。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植日 播種日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m ²) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
※ひとめぼれ	大崎市三本木	5月3日 (-1)	42.8 (106%)	522 (112%)	9.2 (+0.5)	45.4 (+1.5)	
※ひとめぼれ	加美町小野田	5月18日 (+1)	33.7 (99%)	229 (76%)	9.2 (+1.0)	43.8 (+1.7)	
※ササニシキ	大崎市古川	5月6日 (-2)	34.8 (97%)	362 (99%)	8.6 (+0.2)	42.8 (+0.6)	
※つや姫	色麻町四竈	5月4日 (0)	46.8 (117%)	538 (106%)	10.1 (+1.3)	43.8 (-1.0)	前4年比・差
※だて正夢	大崎市三本木	5月9日 (-1)	44.1 (100%)	340 (85%)	9.4 (+0.6)	48.7 (+4.0)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月4日 (0)	32.3 (117%)	356 (125%)	8.9 (+2.5)	43.1 (+1.5)	
ササニシキ (乾田直播)	大崎市古川	4月2日 (-)	32.0 (-)	482 (-)	7.6 (-)	41.1 (-)	新規、前年乾直 条間30cm
ひとめぼれ (乾田直播)	大崎市古川	4月19日 (-)	29.5 (-)	426 (-)	8.2 (-)	39.2 (-)	新規、大豆後 条間24cm
平均(移植栽培) (平年値のあるほ場のみ)		5月8日 (-1)	40.4 (104%)	398 (96%)	9.3 (+0.7)	44.9 (+1.4)	

※田植日の+は遅いことを、-は早いことを示す。

※平年比・差は前5か年(令和元~5年)の平均値との比較。「つや姫」は前4か年(令和2~5年)の平均値との比較。

3 今後の管理

1) 水管理 中干しは生育状況(茎数)を確認し、有効茎数に達したら行う

●中干し

中干しは、有効茎数(表2参照)に達したら行いますが、地域や移植時期で生育差が大きいため、茎数をほ場で確認の上、実施時期を決定しましょう。早すぎる場合は茎数・穂数不足となります。また、生育が平年並みのほ場では、中干しが遅れ、分けつ数(穂数)が過剰になると、籾へ十分に栄養が行きわたらず、白未熟粒の発生といった品質低下を招く原因となります。

中干しの主な効果

▶無効分けつの抑制

稲の窒素吸収が制限され、無効分けつの発生を抑えます。

▶耐倒伏性の向上

土壌を締め、下位節間の伸長が抑えられることで倒伏しにくくなります。

▶根の活力向上

土壌中に酸素を供給することで根腐れの原因となる有害物質を抑制し、根の活力を高めます。

●走り水

中干し終了後は走り水で飽水管理を行い、徐々に間断かん水に切り替えることで、根の活力維持に努めましょう(急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、根が傷みます)。

有効茎数の目安

✓ 有効茎数の目安

- ひとめぼれ 410本～460本/㎡
- ササニシキ 480本～510本/㎡
- だて正夢 350本～400本/㎡
- つや姫 400本～440本/㎡

✓ 右表の「1株当たりの有効茎数」は、「有効茎数(本/㎡)÷田植え時の設定株数(株/坪)÷3.3」により算出。

✓ あくまで参考値ですので、中干しの判断はほ場全体の生育状況を見ながら行いましょう。

表2 1株当たりの有効茎数(本/株)の目安

		田植え時の設定株数(株/坪)		
		50	60	70
有効茎数 (本/㎡)	400	26	22	19
	450	30	25	21
	500	33	28	24

○ 水深 ←—— 間断かん水 ——→ ←—— 中干し ——→ 走り水 → 間断かん水 ——→

○ 効果 根の活力維持, 土壌の酸素供給 過剰分げつの抑制, 根の活力維持, 倒伏抑制



図2 今後の水管理

2) 病害虫防除

●いもち病

- ▶ いもち病は、葉では円形～楕円形で灰緑色、水浸状の病斑を生じた後に、ひし形で中央部灰白色等の病斑が生じます。
- ▶ 近年は、いもち病による目立った被害は少なくなっていますが、湿度の高い曇雨天が続くことで発生しやすい条件となります。
- ▶ ほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。本田で確認された場合は直ちに茎葉散布剤を散布しましょう。
- ▶ 葉いもちの感染好適日は宮城県病害虫防除所のHPで確認できます。予防防除等を検討される際の参考にしてください。



葉いもちの病斑

HP <<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>>

●斑点米カメムシ類（雑草防除）

- ▶ 斑点米カメムシ類の発生を抑えるため畦畔の草刈りや水田の雑草防除を行いましょう。
- ▶ 畦畔・牧草地などの草刈りは水稻出穂期10日前までに行いましょう。
- ▶ アカスジカスミカメは、雑草のイヌホタルイを利用して水田内で繁殖します。イヌホタルイが発生している水田では、雑草防除を徹底しましょう。
※アカスジカスミカメは宮城県で発生する斑点米カメムシ類の最重要種であり、管内に発生する



アカスジカスミカメ（成虫）

斑点米カメムシ類のおよそ9割を占めます。

●紋枯病

- ▶紋枯病は葉や葉鞘にて、周縁部が緑褐色や褐色、内部は灰緑色や灰白色の楕円形の大きな病斑が生じます。
- ▶紋枯病は前年の病斑上に形成された菌核がほ場に残り、翌年の伝染源となる土壌伝染性の病害です。▶前年発生した水田では、穂ばらみ期に水面施用剤の施用、もしくは穂ばらみ期から出穂期の茎葉散布剤の施用を検討しましょう。
- ▶特に、気温が22～23℃を超え、株間湿度が高くなると発生しやすくなります。



紋枯病

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（3月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③安全フレーム・キャブ付きトラクターの使用を呼びかけを行います。

重点推進テーマ 「学ぼう！正しい安全知識 ～機械作業の安全対策と熱中症の予防策～」

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

東北地方 1 か月予報

（6月22日から7月21日までの天候見通し）

令和6年6月20日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。平均気温は、高い確率70%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

<気温経過の各階級の確率（%）>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	20	70
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	20	30	50

令和6年度生育モニタリングの生育状況（宮城県古川農業試験場）

令和6年6月19日現在

1 移植栽培（6月10日調査） 【古川農業試験場生育モニタリングほ場】

品種名	苗の種類	移植日	栽植密度 (本/m ²)	基肥 (kgN/10a)	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m ²) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
だて正夢	稚苗	5月10日	18.5	5.0	30.3 (106%)	163 (85%)	5.7 (-0.5)	38.9 (-0.6)	平年比較
金のいぶき	稚苗	5月10日	18.5	5.0	27.7 (115%)	231 (105%)	5.5 (+1.0)	35.4 (+0.1)	前年比較

【今後の栽培管理等】

<だて正夢>

- ・茎数が目標茎数（350~400 本/m²）に達していない場合は、浅水管理とし、分けつ増加を促す。茎数確保後は中干しを行い、根の活力維持のため間断かん水に移行する。
- ・いもち病防除は、「ひとめぼれ」に準じて行う。

<金のいぶき>

- ・茎数が目標茎数（460~510 本/m²）に達していない場合は、浅水管理とし、分けつ増加を促す。茎数確保後は中干しを行い、根の活力維持のため間断かん水に移行する。
- ・いもち病に弱いため、箱処理剤を使用したほ場でも水面施用剤による2回防除を必ず適期に実施する。また、必要に応じて出穂直前に茎葉散布剤で穂いもち病防除を行う。

2 直播栽培（6月11日調査） 【古川農業試験場生育モニタリングほ場】

品種名	播種方式	播種日	播種量(kg) (平年差)	基肥 (kgN/10a)	出芽揃日数 (日)	苗立数(本/m ²) (平年比)	草丈(cm) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	備考
ひとめぼれ (乾田直播)	グレーンドリル 鎮圧	4月12日	5.1 (-1.9)	11.0	35.0 (-7)	155 (69%)	22.9 (123%)	6.3 (+0.9)	前年比較
ひとめぼれ (湛水直播)	鉄コーティング	5月9日	2.0 (-0.8)	5.0	19.0 (+8)	59 (79%)	14.3 (99%)	4.9 (+0.6)	平年比較

<乾田直播>

- ・本年の出芽揃いは、前年より7日間早く、生育が早まっている。
- ・乾田直播栽培では、移植栽培に比べて減水深がやや大きいので、水を切らさないよう管理する。有効茎数確保後は軽めに中干しを行い、その後間断かん水に移行する。
- ・いもち病防除を実施していないほ場では、防除を実施する。
- ・ノビエ等が残草した場合は、直播水稲用の中・後期剤で早めに防除する。

<湛水直播>

- ・本年の出芽揃いは、平年より8日遅く、苗立本数が少ないため、浅水または間断かん水を行い分けつ促進を図る。
- ・いもち病防除を実施していないほ場では、防除を実施する。
- ・ノビエ等が残草した場合は、直播水稲用の中・後期剤で早めに防除する。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

古川農試ホームページ（<https://www.pref.miyagi.jp/site/seikuzyoho/index.html>）からも御覧いただけます。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

